



自然災害と経済学



経済・経営



Keywords

自然災害、経済成長、経済発展



外谷 英樹 教授

所属

経済学研究科 経済学専攻

専門分野

経済発展の国際比較

所属学会

理論・計量経済学会

HP

<http://www.econ.nagoya-cu.ac.jp/teachers/toya-hideki>



研究概要

現在、自然災害は日本のみならず世界中に多大な影響を与えています。自然災害は「台風」や「洪水」などの気候的災害や「地震」や「津波」、「噴火」などの地質的災害など様々な種類がありますが、これらの自然災害は私たちの経済・社会にどのような影響を与えるのでしょうか。また、どのような経済・社会が自然災害からの被害を軽減させるのでしょうか。これらについて、世界各国のデータを用いて、研究しています。

関連する著書

- “防災政策による災害被害の軽減効果：都道府県別データを用いたパネル分析”、『経済学的視点を導入した災害政策体系のあり方に関する研究報告書』、内閣府経済社会総合研究所、平成21年
- “自然災害のマクロ経済への長期的インパクトについて”、『巨大災害・リスクと経済』、日本経済新聞出版社、平成26年
- "Do Natural Disasters Enhance Societal Trust?," *Kyklos*, 2014, vol. 67(2), pages 255-279, 05. (共著)
- "Information/communication technology and natural disaster vulnerability," *Economics Letters*, 2015, vol.137, pages 143-145. (共著)

今後の展望／実用化イメージ

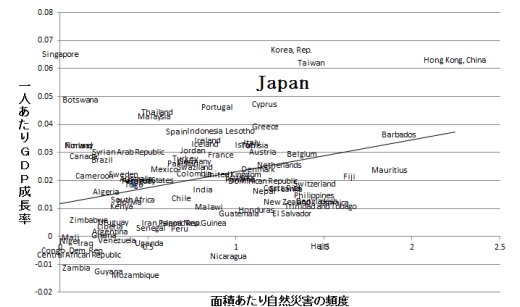
自然災害が「政府の行動、効率」にどのような影響を与えるのかを分析し、減災政策に効果的な政策を更に模索していきたいです。

問い合わせ

社会連携センター（桜山キャンパス本部棟2階／事務局学術課内）

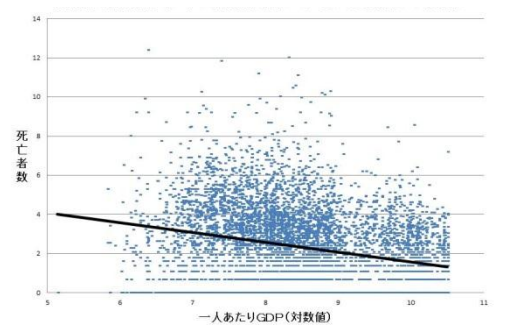
〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地
 （名古屋市営地下鉄桜通線「桜山」駅③出口すぐ）
 ☎ 052-853-8041 FAX 052-841-0261
 ✉ ncu_renkei@sec.nagoya-cu.ac.jp

図1：自然災害の頻度と経済成長の関係（1960-1990）



世界各国でみるとプラスの関係
 →自然災害を多く経験している国ほど、
 経済が成長する傾向にある

図2：一人あたり所得水準と自然災害による人的被害の関係



豊かな国ほど、自然災害による被害が少ない



研究者からのメッセージ

日本は、世界において自然災害が最も多い国の一つです。そのような日本での体験・経験に基づき、日本だけでなく世界各国のデータを分析に用いることで、自然災害が私たちの経済・社会に与える普遍的な影響の研究成果を世界に発信したいと考えています。